

令和2年度

事務事業評価表（令和元年度の実績評価）

記入年月日  
令和2年4月21日

事務事業名		チャレンジいばらき県民運動企画事業					事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	060103000269	
							単独/補助	単独		030301	
政策体系	総合計画の施策名	0601 市民協働のまちづくり							所属課	生活環境課	
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり							課長名		
	施策名	01 市民協働のまちづくり							グループ	市民活動・交通安全G	
	手段名	03 ③市民の連携による地域づくりの推進							担当者名		
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	02	01	15	01	00	市民協働推進事業				
法令根拠						単年度繰返し（平成18年度～） → 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 茨城県が主催する「チャレンジいばらき県民運動」に参画し、茨城県が目指す元気で明るく親しみやすい地域づくり運動を市内で進め、茨城県を愛する県民性の向上に寄与する。 桜川市では、平成18年度に「桜川市ネットワーク協議会」を立ち上げ、市内におけるチャレンジいばらき県民運動の推進と、県が主催する事業に参加・協力している。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・茨城県（チャレンジいばらき県民運動事務局）との連絡調整 ・桜川市ネットワーク協議会の活動サポート 【主な活動】 ・県が主催する会議・活動への参加 ・ネットワーク交流会の開催 ・美化活動 ・県西地域で開催される各種大会への参加

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
・チャレンジいばらき県民運動事務局との調整 ・桜川市ネットワーク協議会の活動サポート ・県が主催する会議・活動への参加 ・ネットワーク交流会の開催 ・県西地域で開催される各種大会への参加	各種事業の回数	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
ネットワーク、市民	ネットワーク会員数	人	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
	市民	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
チャレンジいばらき県民運動の理念を広める	各種事業の参加者	人	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

			30年度	01年度	02年度	期間限定	
			（実績）	（実績）	（計画）	総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	10	10	10	
		事業費計（A）	千円	10	10	10	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

01年度事業費実績（千円）

02年度事業費予算（千円）

事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	10		19 負担金補助及び交付金	10	
		合計	10		合計	10

事務事業名	チャレンジいばらき県民運動企画事業	事務事業No.	60103000269	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成8年に「大好きいばらき県民会議」が発足し、茨城県の呼びかけにより旧3町村時代から参画している。合併後、平成18年度に桜川市ネットワーク協議会を設立し、茨城県の提唱する県民運動を展開している。平成30年に「チャレンジいばらき県民運動」と名称変更、活動内容も変更された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
活動がマンネリ化している。 活動するネットワークが高齢化し、脱会する人が多くなってきた。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 県民として郷土愛を育むことは重要であり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県が主催する事業であり、各市町村には参画を求められているため妥当である。	
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 郷土愛を持つ者が集まり、自主的に活動を行っている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 茨城県から依頼される事務、桜川市ネットワーク協議会のサポートに影響がある。
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 茨城県が県民性向上のため進めているものであり、市町村はその支援的立場に位置づけられている。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 市の負担はチャレンジいばらき県民運動の負担金のみであり、削減は困難である。人件費のほとんどは茨城県から依頼される事業への対応である。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民全体が対象であるため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	市がヤマザクラの保護育成を重要視していることもあり、会員でヤマザクラ講座やヤマザクラの名所を巡るヤマザクラ巡回を行い、市の資源について学んでいる。さくらがわ地域医療センター周辺の清掃活動など環境美化運動にも取り組んでいる。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○	X	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		○	X	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A : 継続 (現状維持) C : 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B : 継続 (改革改善を行う) D : 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>